

夏休み企画展「城下町和歌山を歩こう」(7/14~8/26)

和歌山県立博物館に行こう

(和歌山県立博物館は、和歌山城の南側にあります。)

学校名() ()年()組 名前()

()のなかに、言葉やマークを入れて完成させてね。



Q1. 300年ほど前の城下町和歌山が描かれています。真ん中にある和歌山城を中心に、武士の家、町人の家、寺院や神社などが建ち並んでいます。城の周辺にまとまってある白色は、()が住む場所です。街道の近くや川の近くにあるもみじ色には、()が住んでいます。城下町の南端にある灰色の場所には、()がたくさん建っています。

(展示番号1 紀州和歌山大絵図を見てね)

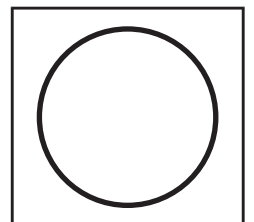
Q2. 和歌山城下町で活躍した商人がたくさん描かれています。日用品や季節ごとの品物を、肩にかついだ棒にさげて売り歩く商人で、「ふりうり」と呼ばれていました。下に描かれた人は、どんな商売をしている人でしょうか。(展示番号7 天保年代物売図を見てね)



() () () () ()

Q3. 南海和歌山市駅に近い本願寺鷺森別院周辺の発掘調査で、土の中からたくさんの泥面子が出てきました。泥面子には色々なマークが刻まれています。お気に入りのマークを丸のなかに書いてみましょう。

(展示番号13 鷺ノ森遺跡出土遺物を見てね)



Q4. 毎年5月、和歌浦にある東照宮では和歌祭が行われます。



わかまつり絵巻には、江戸時代の和歌祭が描かれています。そのなかで、鹿の角を被り、長いささらを持って踊る人がいます。この踊りは()と呼ばれ、城下町に住む湊地区と()地区の町人が担当しました。

(展示番号27 わかまつり絵巻を見てね)

和歌山県立博物館の
記念スタンプを押してね

夏季特別展「和歌山城 再発見！」(7/14~8/26)

和歌山市立博物館に行こう

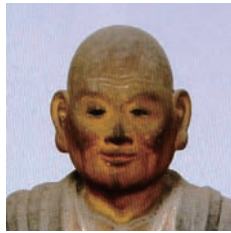
(和歌山市立博物館は、和歌山市民図書館のとなりにあります。)

Q1. 1585年から和歌山城を築く工事が始まりました。現在の和歌山城のかたちになったのは江戸時代に入ってからのもので、約30年かけて和歌山城が築かれたのです。和歌山城の築城には多くの人に関わりました。その人たちの名前を調べてみましょう。



()

1585年から86年にかけて紀州を平定し、のちに全国を統一しました。



()

1595年から1601年まで、和歌山城の城主でした。



()

御三家・紀州藩55万5千石の初代の藩主です。

Q2. 江戸時代の和歌山城を描いた絵や図面はたくさん残っていますが、立体的な模型になる図面はめずらしいです。これは和歌山城のどこを描いたものでしょうか？

()



Q3. 紀州藩11代藩主・徳川斉順が江戸での勤めを終えて、和歌山に帰ってきたときの大行列のようすを描いた絵画です。和歌山市内のある場所ですが、これはどこでしょうか？



()

和歌山市立博物館の
記念スタンプを押してね